

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 28 日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20320012

研究課題名(和文) 旅順博物館所蔵非漢字資料に関する総合的研究

研究課題名(英文) A Synthetic Research for the Non-Chinese Manuscripts held in Lushun Museum

研究代表者

三谷 真澄(MITANI MAZUMI)

龍谷大学・国際文化学部・准教授

研究者番号：20411275

研究分野：仏教文化学・古写本学

科研費の分科・細目：哲学 印度哲学・仏教学

キーワード：旅順博物館・大谷探検隊・非漢字資料・写本・中央アジア・国際情報交換・中華人民共和国

1. 研究計画の概要

本研究は、中国・旅順博物館が所蔵する大谷探検隊収集の中央アジア出土資料のうち、すでに一定の成果を挙げた漢字資料の研究実績に基づき、これまで解明の進んでいない33件 433点をはじめとする非漢字資料の総合的・学際的研究を行おうとするものである。

2. 研究の進捗状況

大英図書館 International Dunhuang Project(IDP)の日本支局として培われたデジタルアーカイブ技術を活かし、連携研究者・岡田至弘氏により専門的知識の提供を受け、当該資料の撮影を行い、画像データを蓄積している。

ブラーフミー文字・ソグド文字・ウイグル文字・チベット文字・漢字の資料について、それぞれ、研究分担者・若原雄昭氏、吉田豊氏、松井太氏、上山大峻氏が中心となって、橋堂晃一氏、那須良彦氏ら研究協力者とともに同定調査を行っている。仏典・非仏典を分類し、仏典は、可能な限り典籍の同定を行い、非仏典は、内容の解読を行っている。これまで未同定であったサンスクリット語の『雑阿含経』や、トカラ語の Buddhastotra の断片群が新たに発見されている。

それらの結果を基に、断片数、断片サイズ、出土地、書体、行数などの書誌情報を含む画像データベースの作成に着手している。

同館所蔵資料の中で同一写本の離片と見なされる断片群を、画像ベースで接合させ、姉妹関係にある本学所蔵資料はもとより、IDP が公開している諸断片をも参照して、当該文書を可能な限り復元しようとしている。

龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究

センターの協力により、文書断片を側面から二枚のガラス板で挟み込んだ資料については、ガラスの色情報を排除したオリジナルの文書の紙色復元作業に着手している。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。
(理由)旅順博物館の協力により、同館所蔵の非漢字資料の撮影をほぼ完了し、そのデータに従って、文字・言語ごとに研究分担者に依頼して、解読研究を進めている。その研究成果は、データベースとして構築しつつあり、最終年度に国際学術シンポジウムとして発表予定である。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、過年度に実施した同定調査データに基づき、研究分担者が中心となって、研究協力者とともに研究成果を発表し、論文集を刊行する。

旅順博物館所蔵資料と同地域から出土した資料を所蔵・研究する龍谷大学大宮図書館はじめ、大英図書館、ドイツ・ベルリンブランデンブルク人文科学アカデミー、フランス・国立図書館、ロシア・サンクトペテルブルク東洋学研究所、トルコ・イスタンブール大学図書館、新疆ウイグル自治区博物館等と連携し、非漢字資料について比較調査を行い、旅順博物館所蔵資料と接合する断片の有無を調査する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 32 件)

吉田豊「ソグド人と古代チュルク族との関係に関する三つの覚え書き」『京都大学文学部研究紀要』50, pp.1-42,2011, 査読無

三谷真澄「旅順博物館所蔵の漢文無量寿経写本」『宗教研究』83-4 pp.409-410,2010, 査読有

吉田豊「新出のソグド語資料について 新米書記の父への手紙から：西巖寺橋資料の紹介を兼ねて」『京都大学文学部紀要』49 pp.1-24,2010, 査読無

松井太著、廣中智之譯「吐魯番出土回鶻文書中所看到的七康湖和其灌溉」『吐魯番學研究』(新疆吐魯番學研究院)2010-1pp.79-81,2010, 査読無

A.G.セルトカヤ(著)三谷真澄(訳)「イスタンブル大学図書館にどのようにトルファン出土文書が移管されたか？」龍谷大学『仏教文化研究所紀要』第47号,pp.68-76,2009, 査読無

上山大峻「出土文書と仏教史研究 敦煌資料研究からの発言」『仏教史学研究』52-1,pp.70-98,2009, 査読無

〔学会発表〕(計 30 件)

三谷真澄「龍谷大学と旅順博物館の非漢字資料 その意義と保存状況」古典籍デジタルアーカイブ研究センター2010年度研究集会・国際敦煌プロジェクト研究シンポジウム、2010年7月13日、龍谷大学

上山大峻「旅順博物館と大谷探検隊将来資料」『旅順博物館蔵仏教写本国際研究会』2010年3月29日、龍谷大学

吉田豊「中央アジア出土のソグド語資料」(同上)

Mazumi MITANI A Joint Research on Chinese and Non-Chinese Buddhist Manuscripts in Ryukoku University and Lushun Museum (龍谷大学・旅順博物館の漢字・非漢字仏典写本に関する共同研究) Berlin Turfanforschung, Collegium Turfanicum 45、2009年12月12日、Berlin Turfanforschung

三谷真澄「紙と錦 龍谷大学と旅順博物館コレクションの織りなす色世界」(ポスター発表)『古典籍デジタルアーカイブ研究センター2008年度研究集会』International Workshop on History of Color in Asia2009年3月19～20日、龍谷大学

三谷真澄「旅順博物館所蔵の浄土教写本について」『旅順博物館首届專家年会暨國際學術研討会』2008年9月20日、中国・旅順博物館

〔図書〕(計 14 件)

三谷真澄「龍谷大学と旅順博物館の非漢字資料 その意義と保存状況」(龍谷大学アジア仏教文化研究センター編)『アジア諸地域における仏教の多様性とその現代的可能性の総合的研究 2010年度研究報告書』pp.159-171, 2011

三谷真澄「大谷光瑞とロシア」(柴田幹夫編)『大谷光瑞とアジア 知られざるアジア主義者の軌跡』pp.94-108, 2010

上山大峻「日本の西域探検」『新アジア仏教史 05 中央アジア 文明・文化の交差点』佼成出版、pp.258-262,2010

吉田豊「出土資料が語る宗教文化 イラン語圏の仏教を中心に」pp.165-215, 429-436(上掲書)2010

橋堂晃一「東トルキスタンにおける仏教受容とその展開」pp.67-112,423-425(上掲書)2010

吉田豊・曾布川寛『ソグド人の美術と言語』(吉田豊「はじめに(pp.2-3)」・「ソグド人とソグドの歴史(pp.7-78)」・「ソグド人の言語(pp.79-118)」)臨川書店,2010

旅順博物館・龍谷大学共編『旅順博物館所蔵新疆出土漢文浄土教写本集成』(龍谷大学西域研究叢書5)龍谷大学仏教文化研究所西域文化研究会(編集三谷真澄・王若)135p,2010